

電子デバイス産業新聞

2018年2月8日（木曜日）

●エピクレスト VCSEL用の 酸化装置を発売

（株）エピクレスト（京都市
南区上鳥羽中河原51、☎0
75-6993-3356）
は、リアルタイムモニター
付きの6インチ用面発光レ

ーザー（VCSEL）作製
用酸化装置「HiVOX6
001」を発売した。価格
は税別4200万円。

VCSELの製造工程で
酸化工程は歩留まりを左右
する極めて重要な工程であ
り、面内均一性、バッチ間
の再現性が非常に重要にな

る。これに対応するため本
装置は、高精度6インチ用
のヒーターを新規に開発す
るとともに、ガスフローを
最適化し、優れた面内均一
性、バッチ間の性能を得る
ことに成功した。リアルタ
イムモニターの搭載で、確

実な酸化プロセスの終端検
知が実現できる。

主な仕様は、▽処理基板
サイズ⇨6インチ×1枚、
4インチ×1枚、3イン
チ×3枚、2インチ×7枚、
▽加熱方式⇨抵抗加熱方式
（最高加熱温度600℃）。

現在、国内メーカーをはじめ
海外メーカーからの引き
合いを受けて随時サンプル
デモを実施しており、国内
向け3台、海外向け3台の
受注を見込んでいる。納期
は5カ月。

なお同社では、本装置を
用いた酸化処理の受託サー
ビスも請け負っている。

アップルが新型スマート
フォン「iPhone X」
に搭載した顔認証システム
「Face ID」の3D
センシング用光源にVCSEL
を採用したため、VCSEL
の需要が急速に拡大
している。さらに、光ファイ
バー通信やLiDAR、
ジェスチャー認識などの用
途が見込めるため、国内外
デバイスメーカーからの引
き合いが活況を呈してい
る。